



横浜絵の深層

企画展

—ジャンルか、イメージか、それとも輸出美術か—

開港以来、横浜は海外への窓口として、文化・技術・思想が行き交う都市として発展してきました。外国人旅行者や商人が往来し、多様な人々が集うことで、さまざまな造形文化が育まれました。

そこで生まれた表現には、油彩画、水彩画、横浜浮世絵、漆器、陶磁器、写真、そして「横浜絵」と呼ばれる絵画などがあります。これらは日本国内にとどまらず、輸出美術や土産物として海外にも広く流通しました。

本展では「横浜絵」をキーワードに、肖像画・風俗画・水彩画を中心とした多様な表現をとりあげ、その「横浜絵」という美術表現の広がりの一側として工芸分野にも視野を広げます。

幕末から明治初期、西洋絵画技法の影響により「横浜絵」は写実的な性格を持って展開し、その中心には五姓田芳柳を起点とする五姓田派の肖像画がありました。その表現技法は、周辺の画家たちへと広がり、主題、作風、技術は徐々に多様化し、水彩画の隆盛や輸出工芸の下絵制作などへも展開していきます。

こうした造形作品に関わった横浜で活動した画家たちの作品は、徐々に明らかになりつつあります。本展では、知られざる作家や作品も含めてとりあげ、あわせて近年注目を集める横浜の画家・笠木治郎吉についても紹介します。



五姓田派《「仇討ち」基太平記白石奪り》
麻布・着色、明治初期、星野真郎



渡辺南吾《長命耳探取 下絵》
紙・鉛筆、明治20年(1887)頃、神奈川県立歴史博物館



初代五姓田芳柳《西洋老婦人像》
絹本・水彩、慶應年間～明治初期、神奈川県立歴史博物館



初代五姓田芳柳《風俗図屏風》 紙・水彩、慶應年間～明治初期、郡山市立美術館

一步深く知る。学芸員によるここだけの特別講座

1 9/12(土)

工芸と絵画の邂逅-眞葛焼・横浜絵付
【講師】鈴木愛乃(神奈川県立歴史博物館 学芸員)

2 9/22(火・祝)

近代横浜のアートビジネス
【講師】角田拓朗(神奈川県立歴史博物館 主任学芸員)

3 9/26(土)

横浜と美術～探索の落穂ひろい
【講師】猿渡紀代子(大佛次郎記念館・特任研究員、もと横浜美術館 学芸員)

4 10/3(土)

明治横浜の水彩画-笠木治郎吉のまなざし
【講師】吉井大門(横浜市歴史博物館 学芸員)

【時間】14:00～15:30(開場:13:30) 【会場】横浜市歴史博物館 講堂
【定員】各回150名(先着順) 【参加費】各回900円、全4回一括3,500円
【締切】1 9/2(水)、2 9/9(水)、3 9/16(水)、4 9/23(水・祝)、一括 9/2(水)
【申込】当館ホームページ、イベントページ「企画展・特別展関連イベント」から申し込み画面へお進みいただくか、右の二次元コードよりお申込み下さい(外部サイト)。



ギャラリートーク

担当学芸員による展覧会の見どころを解説します。

【日程】9/6(日)・19(土)・23(水・祝)、
10/4(日)・10(土)・17(土)

【時間】各日14時から40分程度

【会場】横浜市歴史博物館 企画展示室

【定員】30名程度

【申込】不要

【参加費】無料 ※企画展入場券が必要です



笠木治郎吉《海辺の姉弟》(部分)
紙・水彩、明治35年(1902)、
かき画廊(横浜市歴史博物館寄託)



横浜市営地下鉄「センター北駅」下車
1番出口徒歩5分
駐車場あり(30分100円)
〒224-0003
神奈川県横浜市都筑区中川中央1-18-1
TEL 045-912-7777
<https://www.rekihaku.yokohama-history.org/>



次回展覧会の
ご案内

「南武蔵の平安仏」

2026年10月31日(土)～12月13日(日)



横浜市歴史博物館

横浜市歴史博物館は(公財)横浜市ふるさと歴史財団が指定管理者として管理・運営しています。